

[最新刊/7月20日発行予定] 高齢者等支援サービスにおける交通・福祉制度とその利活用——

超高齢社会の移動手段—公共交通活用・再生の方策と手法

～ウルトラ高齢・人口減少社会のバス&タクシーの生き残り戦略～

- ウルトラ高齢期の歩行・運転特性と交通安全の確保—近未来の地域づくり
- 路線バスから小さな交通のネットワーク化—暮らしの足を支える人と仕組み
- 交通と福祉の連携—市民主体の地域交通サービスとバス・タクシー
- 地域交通の生き残り方策—客貨混載の仕組み・効果・可能性と今後の展望

●定価: 5,346円(税・送料込/本体4,950円)
 ●発刊記念特価: 4,900円(税・送料込/特価〆切:6月29日)
 [直接小会へお申込み下さい]
 ●A4版/200頁(予定) ●発刊: 2018年7月20日(予定)

[執筆] 溝端 光雄 / 自由学園最高学部講師、元東京都老人総合研究所室長、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 吉田 樹 / 福島大学経済経営学類准教授、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 三星 昭宏 / 近畿大学名誉教授、関西福祉科学大学客員教授、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 鈴木 文彦 / 交通ジャーナリスト、国土交通省「地域公共交通の活性化及び再生の将来像を考える懇談会」委員

内 容 構 成 (案)

【第1章】ウルトラ高齢時代の交通環境論 自由学園 溝端 光雄

1. ウルトラ高齢化と社会活性 100歳まで生き残れる確率の上昇/交通戦争と交通事故死者数の推移/警察が公表した交通事故死者数/年齢層別・状態別の人口10万人当たりの交通事故死亡者数/歩行者事故/心理の加齢変化—自信と過信/知恵と過信/認知症と免許返納/社会活性の有効な向上策
 2. 歩行支援と移動手段 路側計測による歩行速度の分布/ウルトラ高齢期の移動環境/ウルトラ高齢期の歩測と大きな個人差/歩行機能の減退(歩行速度の低下)歩車間距離の認知力低下/高齢者の全身筋肉量の加齢変化/高齢化と高血圧・糖尿病/有酸素運動の効果/バリアフリーの高度化
 3. 後期高齢ドライバーの運転特性と交通安全の確保 高齢ドライバーの死亡事故の人的要因/判読距離の低下と視野狭小化/認知判断機能の老化
 4. 活老と近未来の地域づくり 向こう三軒両隣の復活/老活と近未来の交通システムづくり
- <Q&A>

【第2章】超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術 福島大学 吉田 樹 ～路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化～

1. 地方圏で懸念される交流機会の減少 交通の躊躇と将来への不安/人口減少下の青森県では/地域のバス交通衰退の事由/情報アクセシビリティが低いバス交通
2. 地域交通政策のベンチマーク・交通政策基本法 交通政策基本法/地域交通政策の制度と活用/地域交通政策のベンチマーク/超高齢社会における交通計画の視点
3. 公共交通網の軸としての「居住」 公共交通の「軸」の明示/八戸市地域公共交通網形成計画と立地適正化計画
4. 「拠点」を明確にしたネットワークの構築 公共交通における「拠点」の重要性/交通網の拠点と目的地の一体化—八戸市の取組み
5. 誰が暮らしの足を支えるか 交通事業者まかせで良いのか/地域公共交通を誰がどう支えるか/「くらしの足」を地域起点で考える
6. 広がる「ニッチ(隙間)」…「小さな交通」への期待 高い高齢者の免許保有率/八戸圏域の運賃低廉化施策/ニッチと小さな交通—創発型サービスの創造
7. 暮らしの足を支える起点 地域公共交通の支え方/道路運送法の「許可・登録」を要しない輸送/「地域」でできること
8. 地域住民による「くらしの足」の確保 山形市明治・大郷地区の取組み/山形市明治・大郷地区の「スマイルグリーン号」運行を「続ける」こと/通院・買物だけが暮らしではない
9. 「暮らしの足」としてのタクシーの選択性向上策 回数券タクシー(埼玉県秩父市)の実証実験の成果/交通政策として「運賃」を考える
10. 「暮らしの足」確保は「総力戦」 青森県佐井村の「ボランティア輸送」/地域主体の移動サービスの成立要件/「三方よし」をどうデザインするか

【第3章】自家用有償運送、互助運送の活用と福祉部門との連携 近畿大学 三星 昭宏

1. 福祉有償運送(福祉移送・自家用有償運送)サービス 用語の定義について/福祉有償運送の歩み/海外の福祉交通整備の歩み/自家用有償旅客運送の実施状況
 2. 地域公共交通をとりまく情勢 地域公共交通利用者の減少とサービス水準の低下/公共交通の衰退が引き起こす問題
 3. 障害者の身体条件と交通手段 障害者の交通手段/要介護者(旧)と障害者の福祉移送サービス需要層/身体条件と交通手段/福祉有償運送の費用と収支率
 4. 改正道路運送法(2006年施行)と自家用有償運送 自家用有償運送のネック/ODの問題/利用料金の問題/自家用有償旅客運送とバス・タクシー事業の関係
 5. 事例報告 枚方市(大阪)の取組み/福祉有償運送の発展課題/福祉有償運送協議会の役割/多くの残された課題と対応策/いろいろな地域公共交通の取組み(近畿の事例から)/市民主体の地域交通づくり
 6. 国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめについて
- <Q&A>

【第4章】地域交通の生き残りをかけた「客貨混載」戦略とその先 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦

1. なぜ、客貨混載なのか? 拡大する交通の確保が難しい地域/将来の車運転への不安/マイカー社会の限界
2. 公共交通は社会のインフラ まちづくりの「要」としての公共交通/これまでの公共交通の限界
3. バス・タクシー事業におけるドライバー不足と高齢化の影響 ドライバー不足の実態とその影響/北海道夕張市のバス半減とドライバー不足/タクシードライバー不足と高齢化
4. 複数モードのコラボレーションのこれまで 目前に迫るスクールバス問題/様々な移動手段と人材・資源・コスト/路線バスとスクールバスの統合への仕組み/スクールバス等の活用事例
5. 期待が高まる「客貨混載(客貨混載)」の仕組みと現状 古くて新しい客貨混載/九州で定着する都市間バスへの「バス便小荷物」/宅配バスの社会実験/幹線区間における客貨混載/中山間地域の客貨混載/宮崎交通の取組み/客貨混載用の車両と混載の方法
6. 「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人を乗せる新たな発想 客貨混載の効果/客貨混載の課題/末端の交通確保に向け客貨混載の発想を拡大する/横たわる課題と対処法
7. 今後への展望 国も変わろうとしている/末端部の車両の問題/海外の様々な交通/「ポストバス」の考え方と仕組み/客貨混載を“その次”へ進めるために

【資料(抜粋)】高齢者の移動手段確保に関する交通・福祉制度について

1. 「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめ 2017(平成29)年6月
2. 「交通」と「福祉」が重なる現場の方々へ—高齢者支援サービスの提供に際しての交通・福祉制度及び事業モデルの整理と解説—
 2018(平成30)年3月 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課・自動車局旅客課/厚生労働省老健局振興課
3. 高齢者の移動手段確保のための「互助」による輸送—道路運送法上の許可・登録を要しない輸送の制度とモデルについて—
 2018(平成30)年3月 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課